

令和7年 6月23日

保護者の皆様へ

人間環境大学附属岡崎高等学校

校長 横山 博文

「花便り」 第5号

梅雨の候、保護者の皆様におかれましては、ご清栄のことと存じ上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

先日、本館南側のハナミズキの隣に、夏椿（ナツツバキ）、別名シャラノキ（沙羅の木）の白い花を見つけて、びっくりしました。本校に努めて5年目にもかかわらず、今まで知らずいたのが恥ずかしいのですが、それ以上に、そのひっそりと、しかしながら何とも言えない爽やかな白い花を見つけて、心が震えました。しばしの間、梅雨空の曇った空気と蒸し暑さが一気に払われ、その白さと清浄感に浸ってしまいました。花のはかなさを強く感じる白さです。

さて、本校では今年、令和7年度より、本格的な学校改革に取り組んでいることは、これまでもお知らせしてきたとおりなのですが、改めてご紹介させていただきます。まずは、本年入学の1年生からではありますが、特進コースに「リアルドラゴン桜プロジェクト」を導入し、進学コースでは「シン探究」において自分が学びたい科目を選択して、自分で時間割を作ることができるようにしました。更には、部活動の活性化を図るため、3年ぶりに「スポーツ進学コース」を復活させています。このうち、「リアルドラゴン桜プロジェクト」は、特進コースだけではなく、目的意識を強く持って高校生活をおくることはスポーツにも通じることであることから、スポーツ進学コースの生徒と、進学コースの希望者にも講座として開講しています。このうち、スポーツ進学コースの生徒に対する講座は、校長である私が提携先の株式会社カルペ・ディエムの資料を使って独自にアレンジもしながら先週、6月19日（木）に実施しました。今日はその内容の一部をご紹介します。

まず、この「リアルドラゴン桜プロジェクト」は各学校独自のプロジェクト名を付ける必要があるため、本校では「SD プロジェクト」（Self Discovery＝セルフ ディスカバリー＝自己発見）と名付けていることです。私が入学式の式辞の中で述べた「（今、何をすべきか、しなければいけないかの）答えはいつも自分の中にある」という言葉から名付けたプロジェクト名です。子供たちに、自分の心の声に耳を傾ければ、答えは自分の中にあることに気付いてほしい、との願いを込めての命名とご理解いただけると幸いです。

2つ目は、「運は決まっているのではなく、自分が作るもの」という話です。「今日は運がいい」と思ったら、それは過去のどこかでそうなる努力をしたからで、逆に「今日はついてない」と思ったときは、過去のどこかでやるべき努力を怠っていただけなのだ、という話です。だから、本当は運がいいとか悪いとかは自分が作っているもので、神様か誰かが勝手に決めているものじゃない、ってことに気付こうよ、ということです。

3つ目は、「自分に合った勉強スタイルを見つけよう」という話です。部活動の後はどうしたって疲れています。その疲れた自分がどうすれば効率よく勉強が捗るのか、それは自分なりの勉強方法を自分が編み出すことが大事だ、と呼びかけました。因みに私は高校時代、自転車で二つ山を越えて自分が通う高校まで約1時間かけて通っていたことから、疲れ切った体でウトウトしながらの勉強はせず、夜の9時から10時には寝て、夜中の2時半か3時に起きて朝まで勉強していた、という話をしました。要は、とにかく自分なりの勉強法は自分でしか見つけられない、ということに気付いて欲しくて、一つの事例として紹介しました。私はこの勉強法が当たって、やっとのことでしたが志望校に合格できたと思っています。その経験を通してもう一つ良かったことは、完璧、朝型人間になれたことです。これは余慶として今に至るまで、自分の人生に大きなプラスだったと思っています。

そして最後に、スポーツをする上では、送迎や道具やウェアの購入などにお金がたくさんかかること、それでも親は惜しみなく、みんなの喜ぶ顔が見たくて出してくれていることに、感謝の気持ちを持とうよ、そして、その感謝の気持ちを照れずに言葉で伝えてください、という話で締めくくりました。親は一番子供に癒されたい存在だ、とも伝えました。

今週、25日（水）からは、1学期末考査が始まります。我が子の頑張りに期待しつつ、親の切ない気持ちも、いつか子供が理解してくれると信じて、頑張しましょう。